



## 市出身者との交流をもっと

衣川区／千葉 健一 さん



先日、義父の一周忌法要があり、その中で次女が書き、文芸誌に掲載されたエッセイが孫によって朗読されました。義父は訳あって還暦を迎えた年から都会で生活を始めた、以来二十数年間元気で働いてきたものの老いには勝てず帰郷、その僅か一年後に亡くなりました。エッセイではその間の父親に対する娘としての思いや葛藤、父親の生き様等を切々と語っていて心を打たれました。義父は毎年欠かさず在京衣川村友会に参加して会員や故郷の皆との交流を楽しんでい

たようです。その村友会も今では経費節減の時節柄、故郷からの参加人数も少なくなったと聞いています。在京の方々の故郷への思い入れは特別なものがあり将来Uターンを考えている人も多いと聞いています。人口減少が危惧されている昨今、市の予算化や議員の方々の積極参加で市出身者の外からの声を聞く機会をもつては如何かと思っています。それが街づくりに生かされ、そしてふるさと納税にも結びつくのではないかと考えます。

次の議会定例会は  
6月7日(金)の開催予定です  
皆様の傍聴をお待ちしております。

## 「共生」を求めて

水沢区／小野寺峯子 さん



高齢化が急速に進み、介護保険に頼るお年寄りが増え、市区町村の財政に占める割合も大きくなっています。また、核家族化により独居生活を強いられるお年寄りも増えていきます。私はそのような方と接する中で「寂しい」「夜になるのが怖い」「不安で眠れない」といった嘆きを聞くたびに、いたたまれない気持ちになります。そこで、自立生活が可能なお年寄りの方が集い、共に生活する場として、NPO法人による「シェアハウス」の設立を望みます。人

と人とのコミュニケーションにより、心も体も元気になり、明日を楽しみに生きるお年寄りが一人でも多くなつてほしいのです。私の義母は、昨年急に歩行困難となり入院しました。リハビリを重ね徐々に回復していきましたが、その間、励みとなったのが「ひ孫たちとの対話」でした。人が集えば会話が生まれ、会話は笑顔を生みます。加速する高齢化社会が、生きる希望のある社会になることを願っています。

## 定例会インターネット中継がご家庭でも

インターネットが使用できる環境の方は、ご自宅でもライブ中継・録画中継をご覧になれます。



詳しい内容については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

奥州市議会

検索

アドレスは

<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/gikai/>

議会開会中は、どなたでも議会の傍聴することができます。  
3月定例会の傍聴者数 計86人（延べ人数）

## あ・と・が・き

新年度がスタート致しました。市長や市議会議員は任期残り一年となりました。議会も全員で「丸」となって全力で課題解決に取り組んでまいります。生活をしていく上で「自分で自分の身を守る」ことは基本であります。しかし、さまざまな地域の生活環境があり「自分で出来る人、出来ない人」があります。少子高齢化の中でこの冬の除雪作業や、家庭のゴミ出しなど住民同士が支えあって助け合っている光景を目にし、改めて協働の大切さや必要性を強く感じました。行政が公的なサービスをを行う上で、市民に理解され、活力が生まれてくるような予算の上手な使い方が大切です。

財政的にも「明るい未来は必ずくる」ことを信じてどこに住んでも苦しい時に行政の力、サービスを利用できる社会を創る努力をします。

（編集委員 中西秀俊）

## 議会広報

### 編集委員会

委員長	菅原 明
副委員長	小野寺隆夫
委員	菅原 由和
委員	飯坂 一也
委員	佐藤 郁夫
委員	中西 秀俊
委員	千葉 悟郎
委員	藤田 慶則